

第4回九頭竜川流域懇談会 議事骨子

日時：平成21年11月18日（水）13：30～15：30

場所：福井県県民ホール（アオッサ8階）

第4回九頭竜川流域懇談会の内容は次のとおり

◆ 審 議

I. 九頭竜川水系中流部ブロック河川整備計画[変更]について

河川管理者から九頭竜川水系中流部ブロック河川整備計画[変更]について、以下の説明・報告を行った。

1. 第3回九頭竜川流域懇談会での質問事項への回答
2. 住民意見聴取の結果について

II. 九頭竜川水系河川整備計画の実施状況について

河川管理者から九頭竜川水系河川整備計画に基づく事業実施状況について、以下の報告を行った。

1. 直轄区間の実施状況
2. 県管理区間の実施状況

■委員からの主な意見・質問及び河川管理者の回答

九頭竜川水系中流部ブロック河川整備計画[変更]について

【質問】住民説明会での質問やアンケートに対する回答を地域住民に周知することが住民への理解につながることを考えるが、地域への報告方法について教えてほしい。

【回答】ホームページへの掲示やアンケート実施場所での閲覧を予定したい。

【質問】住民より出されている、①山づくりと治水の関係についての意見、②公共事業の考え方に対する意見、についてどのように回答したのか教えてほしい。

【回答】上記の意見はアンケートによりいただいた意見であり、現時点では回答していない。回答としては次のように考えている。

①について、流域全体での治水対策も必要と考える。勝山市を含めた関係機関と調整し、連携を強めて対応していきたい。

②について、頻発する出水被害を防御するためには、河川改修が事前に取り組める重要かつ必要な対策と考え、費用対効果を検証しながら進めていく。

【意見】現川改修に使用する石材等は周辺護岸などの景観に配慮してほしい。

【回答】十分配慮していきたい。

【質問】九頭竜川の河床が昔と比較して3mほど上がっているとの住民意見があるが、事実関係について教えてほしい。

【回答】意見は大蓮寺川の洪水の放流先として問題ないかとの主旨であった。大蓮寺川は現在の九頭竜川の状態を考慮して計画を立てており、沿川の地形状況を勘案しても問題はないと考える。なお、今後、土砂堆積等が生じれば維持管理により対応していく。

【意見】今回の治水変更見直しは総合防災を啓発する良い機会と考える。住民に整備計画の情報をしっかりと伝達するとともに、河川管理者と住民の協働や住民の防災意識の向上を図ってほしい。

【回答】PRの強化などを通して努力していきたい。

九頭竜川水系河川整備計画の実施状況報告について

【意見】改修の効果や今後の予定などの情報を、改修中の段階でもアピールすれば、住民の方が暮らしの中で地域をより理解してもらえると考える。

【意見】改修着手前の説明だけではなく、改修中のプロセスも住民や委員に情報を伝えてほしい。住民等との信頼関係を築く上で重要なことと考える。

【回答】進捗状況等の情報をしっかりと提供していきたい。

【質問】小水力発電について国土交通省の考え方を教えてほしい。

【意見】小水力発電を設置するか否かは別として、その設置が可能かどうかの調査は実施する必要があると考える。

【回答】河川における小水力発電は、洪水流下上の問題がなく、取水施設管理者との調整や、設置者の維持管理体制が整っていれば実現の可能性はあると考えている。

【質問】整備計画で位置付けられた足羽川ダムが見直し対象となっている。委員会では結構議論して位置付けたので、現在の状況について教えてほしい。

【回答】現在は用地買収等に入る前の段階であるが、平成22年度については政府原案で明らかにすることが示されている。下流域の自治体住民はもとより水源地域の皆様の理解もいただいているダムであることから、ぜひ新たな段階に上がって早く事業を進めていただきたいとの要望を福井県から出している状況である。

【意見】これまでに本懇談会で審議してきた内容については、政治主導となって存在意義が失われないよう国へ強く訴えていただきたい。

◆ 事務連絡等

次回九頭竜川流域懇談会の開催は次年度以降を予定する。

(以上、15:30 閉会)